

(7/12記) 台風8号が過ぎ去り、今日の白馬は暑い空気に支配されています。

白馬は明日が村長選挙。これまた熱い選挙カー合戦!! みそら野別荘地は浮動票が多いと目される地域です。これからの白馬の舵取りをするのは誰になるのでしょうか?地方経済の疲弊にあえぐ白馬の行く末に対してどれほどの覚悟をもって臨んでいるのだろうか?選挙カーから聞こえる名前の連呼にふともの思ふ。。

(7/13記) 下川元村議の初当選が決まりました。次点の現職太田村長との票差は僅か3票。

ぜひ白馬村民そして白馬村の今後に向けて公約を果たすべく力を尽くしていただきたいと思います。

春の変事その1

マイマイガ大発生2年目となる今年は大変!!
おびただしい数の毛虫、樹木や草木を激しく喰い尽くさんばかりの勢い、上から降ってくる毛虫を避けるため傘をさして歩きたいくらいの時期は過ぎました。ただ今、蛹。これから8月にかけて成虫となるため、照明等に膨大な数の蛾が集まることが推測されます。成虫対策としては、不要な照明の点灯を控える、窓から光が漏れないようにする等も対策の一つと言われていますが。。さてどうなるかなあ。卵塊対策は、卵塊の除去。これは来春の居住地周辺における幼虫の発生を防止する最も効果的な方法です。卵塊を見つけ次第、取り除いて土中に埋めるか燃えるごみとして廃棄してください。卵塊は茶色のふわふわした姿をして壁などに張り付いています。手の届くところを除去するだけでも減数対策になります。卵塊の除去は、ペットボトルを半分に切った簡易な捕獲器を作り卵塊をこそげとるようにとると効果的とのことです。

異常発生の終息について

「マイマイガの異常発生は、通常2~3年で終息します。この要因は、主にウィルスや昆虫疫病菌が自然界に蔓延し、終息年には多くの幼虫がこれに感染し死滅します。」この説明に期待するとともに、自然界の摂理はまさに不思議に満ちていると感嘆!

春の吉事その1

管理事務所の建物西側に鍵の受け渡し箱があるのをご存じの方も多いかと思います。

今、使用できません。しばらく無理です。何故なら、シジュウカラが子育て中なのです。そーっと覗くと数日前までは3つの卵、そして昨日は目が開くか開かぬかという雛が三羽黄色い嘴広げておりました。

数年前からです。ある日、何も気が付かずに久しぶりに鍵の受け渡しのために箱を開けた私は、数羽のぴよちゃん存在に激しく動揺し大人げない声をあげたような記憶が。。(・_・) その年以來、春になると鍵の受け渡しがなくとも時折KeyBoxを開けては変化を逃さぬようになりました。わりと短期間に巣作りをされると思われます。木の枝やコケを上手に積み重ね10cm以上のふわふわお布団のような巣が用意されているのには驚かされます。

親鳥は、すぐ横にある山法師の樹でよい声で歌いながら子育てをしているもよう。雛の鳴き声も微かに聞こえます。

これから暫く覗きたいのを我慢し、いつの間にか巣立っていく日を待ちます。親鳥の姿を見かけなくなって程なくkeyBoxを開けると、乾いた巣だけが残っていて、雛たちの無事な巣立ちに安堵しながら巣の片付けをするのが恒例となりました。



惜別 『小谷杜氏』

皆さんは『杜氏』という言葉をご存じの事と思います。古来よりそれぞれの酒蔵における酒造りには欠かせない存在でした。日本酒を造る技術者の長を指す名称です。杜氏の力量によって酒の味は決まると言っても過言ではないそうです。

かつて優秀な酒の作り手として知られた『小谷杜氏』^{おたりとうじ}という存在を知ったのは、小谷に住みはじめて間もなくの事でした。雪深い小谷村では昔から酒蔵への出稼ぎが盛んで、杜氏、蔵人合わせ最盛期は300人。これは5軒に1軒は酒屋へ出ていた勘定になるそうです。スキーによる観光産業が盛んになる中、酒蔵への出稼ぎもめっきり減り、杜氏の下で働く蔵人は途絶え、辛うじて技術長の役割ゆえ高齢でも蔵元に請われ杜氏を続ける小谷杜氏が僅かに残るだけとなってきていました。

上田市丸子の信州銘醸『秀峰岳久盛』の杜氏、西澤勝さんと夏の山仕事を縁に知り合えたことは、私の人生にとって珠玉のひとつです。品評会で賞をもらった際の金杯を笑顔で箱から取り出しながら、酒造りの歴史や苦労話を話して下さったこともありました。西澤さんは、稲刈りが終わると早々に酒蔵へ、5月塩の道祭りの頃に小谷に戻り夏場は田んぼと畑に精を出し、間があると都会から来た山好きな若者たちと共に山仕事へ。酒造りに一生を注ぎ、飾り気はなく余分なものがそぎ落とされたような生き方がなんと素晴らしかったことか。そして優しかったことか。夕飯もとうにすぎた時刻、『おーい、いたかい?』と小谷独特の言い回しで訪ねてこられます。手には籠一杯の野菜や奥様手作りの餅など。我が家の人数に合わせ、たくさんの種類の野菜が少しずつ入っています。丁度食べられるように西澤さんの野菜籠は絶妙のタイミングで届くのです。子供がスイカが好物と知ると、毎年毎年、1個ずつ順に～秋風がたって寒くなり始めるころまで・・・『西澤さんのスイカ』という名のスイカが子供の元へ届くのです。

かなり前になりますが信州銘醸で仕事中西澤さんを山仕事の仲間と共に訪ねました。嬉しそうに酒作りの手順を説明する顔が素敵でした。『今年のおらの酒のんでみてくれや。』タンクからビーカーで汲んだ酒を皆でたらふくいただいた事が昨日のこのように思い出されます。この4月、西澤勝さんは、信州銘醸の酒蔵で倒れそのまま亡くなりました。享年79才。もっと若いと思い込んでいました。西澤さんの酒造りは永遠に続くような気がしていました。西澤さんの最後の酒『吟醸 梁山泊』が弔いの日に配られました。暫く手を付ける事ができませんでしたが、先日、滲む杯で味わっていただきました。美味しいお酒でした。後ろのラベルに『小谷杜氏 西澤勝』と書かれています。日本の文化は、酒蔵は、小谷は、そして私達家族は、またひとり大切な人を失いました。

<お店紹介>

登山用品・アウトドア用品の専門店「好日山荘」

白馬店が7/18(金)にオープンします。

場所は白馬駅から八方へ向かう途中、八十二銀行向かい側にあります。オープンから10/16の期間、白馬村内9か所のポイントいずれかでスタンプを押印してオリジナルグッズが貰えるキャンペーンもあるので、山へ行く予定のある方は事前にチェックしてはいかがでしょうか。



- ★ お姿を見かけたのを機に急な原稿依頼をしたにも関わらず、別荘にお友達も滞在され何かと気忙しい中、気持ちよく原稿を書いてくださった吉田彬さんにお礼申し上げます。感謝!!
- ★ ラ・プラス夏の特別号をお届けします。皆様よい夏をお過ごしください。

みそら野別荘地と私

2014.7. 12 記

れんげ通り 5 丁目

吉田 彬

1972 年 8 月、大阪 YMCA 関係の、ボランティアグループがみそらの別荘地の T 山荘で一週間、合宿をしました。その時、自然の中の別荘地がとても気に入り、一週間後に、母親と再訪。母親も別荘地の道端に咲き乱れている女郎花や、道へ飛び出してくる兎など、一瞬にして自然の雰囲気気に入りに、土地の購入に賛成してくれ、管理事務所ですぐ手続きをしました。秋には、別荘地内での、モデルハウスの展示会があり、大阪からバスの往復、白馬東急ホテル宿泊の招待旅行に参加、もう次の年の春、1973 年 8 月 3 日には、10 畳一間の小さいコモレビ荘が完成、連休の度に友人と滞在。管理事務所の池田さんからは「一番小さいのに、一番良く来る！」といわれるほど、独身貴族をたのしみました。その後、遅ればせなら、結婚、2 度の増築など、みそら野を初めて訪れて以来、42 年がたちました。

3~40 年前は、道路事情も今と違い、車の能力も今ほどではなく、雪道で立ち往生している車を他の車から降りて来て、助け合うシーンも良くみかけ、白馬の人たちは皆、助け合って生きているのだと実感したものでした。

一番印象に残っているのは、白馬での冬季オリンピックで 2 週間、ジャスコで、“Ask me in English” という札を胸につけて、サービスカウンターや売り場で、通訳の仕事をしたことです。各国の選手が買い物に来ましたが、中でもロシアの選手団の賄いをしていたらしい女性が頻繁に買い物に来ていたのが印象に残っています。仕事の合間には、ジャンプの原田、舟木選手、ノルディックの萩原選手の試合も目の当たりに見ることができました。

夫もスキーが好きなので、近頃は私より夫の方が、白馬へ来る日程を決めるのも、積極的、夫の友人もたくさん滞在されるようになり、池田さんが見られたら、多分「前よりもにぎやか！」といわれるかもしれないほど、シニア生活を楽しんでいます。

このごろはみそら野別荘地での近所づきあいもできて、M さん、K さんや、T さんが来ておられるか、チェックして、テニスや、スキー、マレットゴルフにさそいあったり、うまい物めぐりに同行したり、情報交換をしあったり、 、 、人の広がりを楽しんでいます。それにしても当時、何の迷いもなく、みそら野別荘地を独身女性が購入し、以来、これほど楽しい、心温かい気持ちを味わえるのは、息を飲むような白馬三山の美しさや、親切な白馬の人が原因なのではないでしょうか？

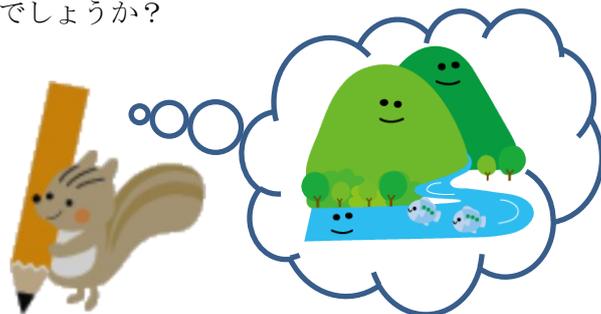
みそら野で詠んだ俳句 春夏秋冬

(春) 春蟬の合唱耳を劈けり

(夏) 蚊遣り焚く森の教会コンサート

(秋) 秋の空ハングライダー群舞せり

(冬) 明るる前轟音たてて除雪車が



不動産担当より みそら野不動産動向

みそら野別荘地おかげさまで 50 周年!!ということは、歴史の転換点でもあり、売り物件数は 100 区画(件)を優に超えています。一体あと何をすれば何年にも亘る滞留案件を動かすことができるのだろう。。。と悩みは尽きません。しかし一方、もの凄く忙しいのも事実です。外国人による中古物件購入が続いています。外国人はリノベーション上手だと感心します。屋根や躯体といった建物の根幹に関する部分さえしっかりしていれば、見た目、築年の古さに囚われず中古物件を購入し、見事に素敵な空間に造り変えていきます。各人の趣味や予算によってその出来栄は異なりますが、それぞれから学ぶところはとても多いです。また、土地を購入した日本人の方々も、自力での別荘用ログハウス建築、隣地購入して素敵な庭造り、若い世代の住宅建築等、見ている私達も楽しませていただいています。

外国人の中古物件に限定された購入の流れから、土地を購入して建物を建築することに興味をむけていただけるよう、建築プランの提案付が急務です。言葉が通じにくい関係では、一からの注文建築は難しいということがわかりました。言葉やセンスの面からだと思のですが白馬在住オーストラリア人建築家が人気です。しかしその方は多忙を極めているとのこと、既存の地元建築業者との間を繋ぐのも弊社の仕事と考えます。



英文の書類も徐々に準備が整ってきました。

外国人の方々が入居層としての重要な存在になってきましたので、英文の広告も作成しています。

売買の前に・・・

- ① 別荘を建築した際に、土地の地目を宅地に変更していない案件が多くあります。
当時、建築会社が地目変更をしないまま(勧めないまま)にしたのでしょうか?時代もそんなものだったのかもしれませんが、しかし、いざ中古建物を売買するにあたって、地目が山林や原野のままでは問題があります。この機会にご自分の土地の地目の確認をされては如何でしょうか。宅地になっていない場合は、今、地目変更登記をするのもひとつ。また、売買の際に必ず地目変更登記が必要と認識しておくのもひとつ。現在、凡そ、地目変更にかかる費用は約 4,5 万円となっています。
- ② 中古建物を売却扱いにする場合、利用しながら売るという建物は、私物を整理整頓し貴重品は置かないという方法になりますが、利用しなくなった建物は、私物や家具備品を処理して何も無い状態にする方がよいです。特に古い建物の場合、見学した際のイメージがかなり違ってきます。
家具備品の処理についてはご相談ください。所有者の方がお越しにならなくても、業者見積もりを取ったうえで郵送でのやりとりを経て弊社立ち合いで処理できます。記念の品やご自宅へ引き取れるものはお持ち帰りいただいてからの処理が基本です。
- ③ 権利証がお手元にあるかどうか、また、名義人変更の有無の確認は以前よりお願いしています。
加えて、建物を所有の方は、建築図面の有無をご確認ください。建築確認申請書もしくは、建築図書一式等、書面の種類はいくつかありますが、図面の有無や改築の履歴などが予めわかっていると助かります。